

- 4) このときのトルクを記録する。
- 5) トルク特性曲線の変化がなくなったところで、モータを止める。

c) **測定**

測定は、**図 4** のようにねじ込みトルク A 及び締付破壊トルク B の値を読みとる。

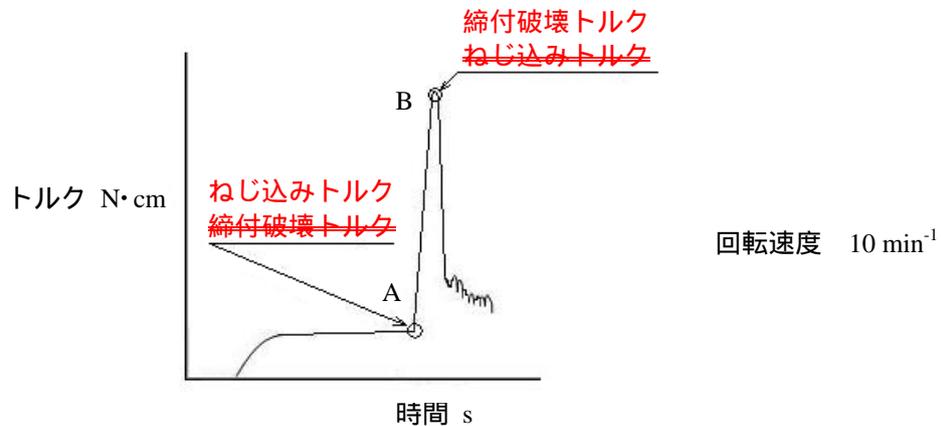


図 4 - トルク - 時間線図 (例)

5.2.4 引張破壊力試験

引張破壊力試験は、グロメットにタッピンねじをねじ込んで固定された試験用鋼板及び上板にそれぞれ反対方向に引張荷重を加え、取付穴からグロメットが抜ける最大荷重を測定するために行う。

a) **試験機**

引張試験機は**図 5** に示したような構造で、引張速度一定形のものとする。検出機構（ロードセル及び記録計）は、規定する試験速度において、慣性遅れがなく荷重を ± 1% 以内の正確さで測定できるものでなければならない。